# 平 成 ２２ 年

**青森県海面漁業に関する調査結果書**

**（属地調査年報）**

**青森県農林水産部**

**は し が き**

**青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。**

**このたび、平成 22 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたの で、結果書（年報）として公表します。**

**この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。**

**おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。**

## 平成 23 年 3 月

**青森県農林水産部長 有馬 喜代史**

## 目 次

#### 調査の要領 ―――――――――――――――――――――――――――1 結果の概要 ―――――――――――――――――――――――――――2 対前年比較表

**第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）―――――――――10**

**第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対五カ年平均比）――――――12 第 3 表 月別漁獲数量比較表 ――――――――――――――――――14 第 4 表 月別漁獲金額比較表 ――――――――――――――――――14 第 5 表 分類別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――――15 第 6 表 分類別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――――15 第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――16 第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――17 第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――18 第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――19 第 11 表 市町村別漁獲数量比較表 ――――――――――――――――20 第 12 表 市町村別漁獲金額比較表 ――――――――――――――――21**

**県計表**

**第 1 表 年 総 括 表 ――――――――――――――――――――22 第 2 表 月 別 表 ――――――――――――――――――――36**

**市町村計表**

**第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額 ――――――――――――――42 第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額 ――――――――――――66 第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額 ―――――――――――――――73**

調 査 の 要 領

１．調査事項

（１）魚種別漁業種類別漁獲数量

（２）魚種別漁業種類別漁獲金額

２．調査時期

毎 月

３．調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

４．調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

５．利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は 100％にならない場合があります。

結果の概要

１．漁獲数量及び漁獲金額

（１）概況

平成 22 年の青森県の漁獲数量は 246,680 トンで、漁獲金額は 518 億 2,528 万円とな

った。これを前年と比較すると漁獲数量で 42,337 トン（14.6％）減少し、漁獲金額で

6 億 3,790 万円（1.2％）増加した（表 1）。

（２）主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、「ほたてがい（新貝・成貝）」、「するめいか（近海・生）」、及び「あかいか（近海）」等の漁獲量が大幅に減少したことによるものである。また、漁獲金額が増加した主な要因は、「なまこ」、「さば」、「するめいか（近海・生）」等の漁獲金額が増加したことによるものである。

（３）過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲が好調であった魚種は「ほたてがい(稚貝)」（漁獲量対平年比 471.3％）、「まいわし」（453.4％）、「さくらます」（163.1％）、「ほたてがい（半成貝）」（135.6％）、「からふとます」（128.2％）等であった。一方、漁獲が低調であった魚種は「さんま」（5.2％）、「こうなご」（13.8％）、「くるまえび」（16.7％）、

「あかいか（近海）」（38.3％）、「かつお」（48.3％）等であった（表 2）。

（４）過去 10 年間の平均との比較

平成 22 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 19.5％、金額で 9.1％、それぞれ下回っている。

##### 表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年次 | 漁 獲 数 量 | 漁 獲 金 額 |
| 数量（トン） | 対前年増減率（％） | 金額（百万円） | 対前年増減率（％） |
| 平成１２年 | **381,396** | **6.6** | **67,467** | **△5.5** |
| 平成１３年 | **365,702** | **△4.1** | **58,734** | **△12.9** |
| 平成１４年 | **327,486** | **△10.5** | **58,461** | **△0.5** |
| 平成１５年 | **281,057** | **△14.2** | **51,812** | **△11.4** |
| 平成１６年 | **296,063** | **5.3** | **60,606** | **17.0** |
| 平成１７年 | **289,662** | **△2.2** | **56,914** | **△6.1** |
| 平成１８年 | **278,430** | **△3.9** | **54,675** | **△3.9** |
| 平成１９年 | **295,695** | **6.2** | **57,217** | **4.6** |
| 平成２０年 | **261,354** | **△11.6** | **53,171** | **△7.1** |
| 平成２１年 | **289,027** | **10.6** | **51,187** | **△3.7** |
| 平成２２年 | **246,690** | **△14.6** | **51,825** | **1.2** |
| 平成12年～平成21年までの平均 （A） | **306,587** |  | **57,024** |  |
| 平成22年／(A)％ | **80.5 %** |  | **90.9 %** |  |

**千トン 億円**

400 700

漁獲数量(千トン)

漁獲金額（億円）

350

600

300

**漁** 250

**獲**

**数量**

200

500

**漁獲**

400 **金額**

300

150

200

100

50 100

0 0

H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22

##### 図１ 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

２．月別漁獲数量及び漁獲金額

（１）月別漁獲数量

平成 22 年の漁獲数量を月別にみると、10 月が 33,190 トンで最も多く全体の 13.5％を占め、次いで 6 月の 29,434 トン（11.9％）、7 月の 29,182 トン（11.8％）となっている（図 2、第 3 表）。

**トン**

平成21年

平成22年

4,000

3,000

2,000

1,000

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

##### 図 2 月別漁獲数量

（２）月別漁獲金額

平成 22 年の漁獲金額を月別にみると、7 月が 60 億 2,834 万円で最も多く全体の

11.6％を占め、次いで11 月の59 億1,307 万円（11.4％）、12 月の57 億3,593 万円（11.1％）となっている（図 3、第 4 表）。

**百万円**

平成21年

平成22年

600

400

200

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

##### 図 3 月別漁獲金額

３．魚種別漁獲数量及び漁獲金額

（１）分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が 91,902 トンで最も多く全体の 37.2％を占め、次いでいか類等の「その他の水産動物」80,644トン（32.7％）、「魚類」72,089 トン（29.2％）、「藻類」2,056 トン（0.8％）の順となっている（図 4、第 5 表）。

これを前年と比較すると、「貝類」は 19,088 トン（17.2％）減少、「その他の水産動物」は 23,539 トン（22.6％）減少、「魚類」は 1,033 トン（1.4％）増加、「藻類」は 692 トン（25.2％）減少した。

平成22年

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

平成21年

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

魚類 貝類 その他の水産動物 藻類

##### 図 4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が 233 億 619 万円で最も多く全体の 45.0％を占め、次いで「魚類」160 億 5,785 万円（31.0％）、「貝類」119 億

4,555 万円（23.0％）、「藻類」5 億 1,569 万円（1.0％）の順となっている（図 5、

第 6 表）。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は 7 億 6,602 万円（3.4％）増加

し、「貝類」は 8 億 3,135 万円（6.5％）減少し、「魚類」は 9 億 2,971 万円（6.1％）

増加し、「藻類」は 2 億 2,648 万円（30.5％）減少した。

平成22年

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

平成21年

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

魚類 貝類 その他の水産動物 藻類

##### 図 5 分類別漁獲金額の構成比

（２）主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」90,622 トン（構成比

36.7％）、「するめいか」56,778 トン（23.0％）、「さば」36,618 トン（14.9％）、

「あかいか」17,971 トン（7.3％）、「すけとうたら」4,949 トン（2.0％）、「たら」4,623 トン（1.9％）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「すけとうたら」2,394 トン（対前年増減率 93.7％）、「さけ」464 トン（12.0％）、「ひらめ」

342 トン（33.2％）、「かれい類」129 トン（6.5％）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」19,022 トン（対前年増減率△17.3％）、「するめいか」13,704 トン（△19.4％）、「あかいか」9,608トン（△34.8％）、「さば」1,654 トン（△4.3％）となっている（図 6、第 1 表、第 7 表）。

##### たら

1.9％ その他

14.3％

すけとうたら

2.0％

あかいか

7.3％

総漁獲数量

246,690トン

ほたてがい

36.7％

さば

14.8％

するめいか

23.0％

図 6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」138 億 2,586 万円（構成比 26.7％）、「ほたてがい」113 億 5,796 万円（21.9％）、「あかいか」36 億 3,035万円（7.0％）、「なまこ」32 億 2,331 万円（6.2％）、「さば」31 億 8,155 万円（6.1％）、

「まぐろ」21 億 2,398 万円（4.1％）、などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「なまこ」

11 億 6,946 万円（対前年増減率 56.9％）、「さば」6 億 7,984 万円（27.2％）、「するめいか」6 億 4,671 万円（4.9％）となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「あかいか」8 億 4,223 万円（△

18.8％）、「ほたてがい」7 億 4,120 万円（△6.1％）、「まぐろ」6 億 9,899 万円

（△24.8％）、「こんぶ」2 億 6,516 万円（△49.4％）となっている（図 7、第 1 表、第 8 表）。

##### まぐろ

その他

27.9％

するめいか

26.7％

総漁獲金額

518億2,528万円

さば

6.1％ なまこ

6.2％

ほたてがい

21.9％

あかいか

7.0％

4.1％

図７ 主な魚種別漁獲金額の構成比

４．漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

（１）漁業種類別漁獲数量

漁業種類別漁獲数量の構成比をみると、漁獲数量は「養殖業」が全体の 36.3％（89,538

トン）で最も多く、次いで「まき網漁業」21.9％、「いか釣漁業」20.0％となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「遠洋底曳網漁業」1,174 トン（141.8％）、「刺網漁業」493 トン（17.0％）、「大型定置網漁業」143 トン（5.8％）、「底建網漁業」65 トン（1.7％）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「いか釣漁業」20,091 トン

（△29.0％）、「養殖業」19,059 トン（△17.6％）となっている（第 9 表）。

（２）漁業種類別漁獲金額

漁業種類別漁獲金額の構成比をみると、「いか釣漁業」が全体の 24.6％（127 億 2,536

万円）で最も多く、次いで「養殖業」21.7％、「まき網漁業」11.2％となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「まき網漁業」17 億 1,834 万円（42.1％）、「沖合底曳網漁業」7 億 6,444 万円（18.4％）となっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「いか釣漁業」18 億 2,374

万円（△12.5％）、「養殖業」7 億 7,617 万円（△6.5％）、「延縄漁業」4 億 1,867

円（△39.5％）となっている（第 10 表）。

### ５．市町村別漁獲数量及び漁獲金額

（１）市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が118,870 トンで最も多く全体の48.2％を占め、次いで平内町 15.9％、青森市 7.7％、外ケ浜町 5.3％、むつ市 4.5％の順となっている。

次に、市町村別漁獲数量を前年と比較してみると、漁獲数量が増加した市町村は、おいらせ町 113 トン（対前年増減率 22.9％）、風間浦村 42 トン（3.3％）、佐井村 37 トン（5.2％）となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 17,395 トン（△12.8％）、平内町 10,731

トン（△21.4％）、むつ市 2,354 トン（△17.5％）ほか 16 市町村となっている（図 8．

第 11 表）。

（２）市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 220 億 8,515 万円で最も多く全体の

42.6％を占め、次いで平内町 11.8％、むつ市 6.6％、東通村 5.5％、外ヶ浜町 5.2％の順となっている。

次に、市町村別漁獲金額を前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市 19 億 6,397 万円（対前年増減率 9.8％）、外ヶ浜町 9,490 万円（3.7％）、横浜町

8,748 万円（7.9％）ほか 3 市町となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、大間町 4 億 6,302 万円（△25.6％）、六ヶ所村

3 億 418 万円（△19.2％）、中泊町 1 億 7,227 万円（△14.2％）ほか 13 市町村となっている（図 9．第 12 表）。

その他

その他

18.4%

むつ市

4.5%

外ヶ浜町

5.3%

総漁獲数量

246,690トン

八戸市

48.2%

青森市

7.7%

平内町

15.9%

28.3%

総漁獲金額

518億2,528万円

八戸市

42.6%

外ヶ浜町

5.2%

東通村

5.5%

むつ市

6.6%

平内町

11.8%

図 8 市町村別漁獲数量の構成比 図 9 市町村別漁獲金額の構成比